保健管理センターニュース

No.114
2018/8/30

発行：岐阜大学保健管理センター
TEL：058-293-2174　FAX：058-293-2177　E-mail：hokencen@gifu-u.ac.jp

風疹が流行しています⚠

抗体価の十分でない人は予防接種をうってください！

風疹（ふうしん）とは？

風疹は、飛沫（唾液のしぶきなど）を介して感染するウイルス感染症で、感染してから 2～3 週間の潜伏期の後、全身に淡い発疹が出現します。その他、発熱（微熱程度のことも多い）やリンパ節の腫れが特徴的です。発疹は 3 日ほどで消えるために、『三日ばしか』とも呼ばれていますが麻疹とは違うウイルスです。感染しても明らかな症状が出ずに済んでしまう場合（不顕性感染）も 15%程度あるといわれていますが、大人になってから感染すると発熱や発疹の期間が子どもより長く、関節痛がひどくなることが多いとされています。妊娠初期の女性が風疹に感染すると、胎児に白内障、心疾患、難聴などの障害（先天性風疹症候群）をおこすことがあります。男性も女性も皆が予防接種をうけて十分な抗体を持っていれば、先天性風疹症候群は完全に防ぐことができます。

風疹にかからないためには？

★予防接種を受けて抗体（抵抗力）を獲得することが、確実な予防法です。

岐阜大学では、学生（入学時）も教職員（採用時）も健康診断で、感染症抗体検査（麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎）を行っています。
基準値（抵抗力を十分持っている）に満たない人は医療機関で追加予防接種を受けてください。抗体検査結果は下のURL からいつでも確認できます。

【URL】https://alss-portal.gifu-u.ac.jp

★教職員の方で抗体価が不明の方は保健管理センターにお問い合わせください。